

図2 栃木県における観光客入込数・宿泊数の推移



図3 市町別観光客入込数の推移(抜粋)

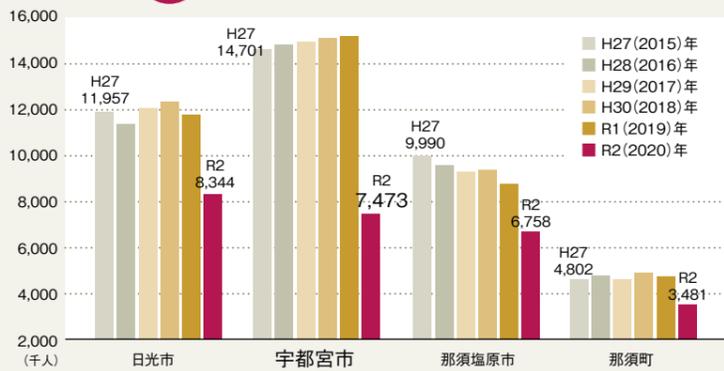


図4 市町別観光客宿泊数の推移(抜粋)

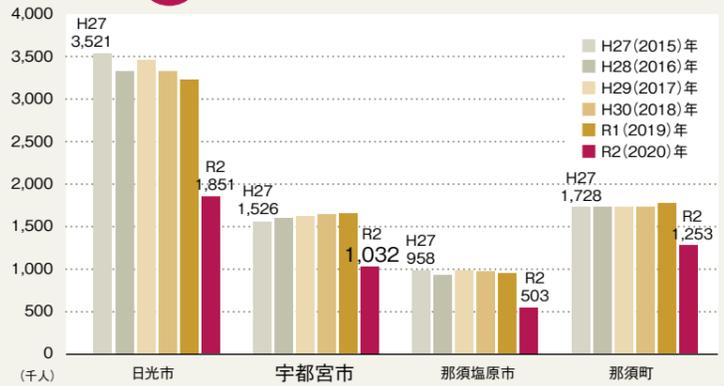


表1 宇都宮市の観光客入込数と宿泊数

年度	観光客入込数	観光客宿泊数
平成27(2015)年	14,700,500	1,526,151
平成28(2016)年	14,830,100	1,560,013
平成29(2017)年	14,989,200	1,592,057
平成30(2018)年	15,130,450	1,616,609
令和元(2019)年	14,768,400	1,615,312
令和2(2020)年	7,472,800	1,031,578

図2は、栃木県における観光客の入込数と宿泊数の過去16年の推移をグラフにしたものです。平成23年に一時的に落ち込みがあった以外は、平成16年から令和元年まで

なぜホテル・旅館施設に対する支援が必要なのでしょう。栃木県産業労働観光部観光交流課による「令和2(2020)年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果」から、宿泊や観光面でのコロナ禍の影響の大きさを見ていきたいと思えます。

図3は、栃木県における観光客の入込数と宿泊数の過去16年の推移をグラフにしたものです。平成23年に一時的に落ち込みがあった以外は、平成16年から令和元年まで

図4は、市町別観光客入込数の推移(抜粋)です。表1は宇都宮市の観光客入込数と宿泊数の直近6年間の推移です。どちらも令和2年が前年に比べて大きく落ち込んでい

図5は、県内市町別の観光客入込数の推移、図4は同じく市町別の観光客宿泊数の推移です。宇都宮市の入込数が多いのは、観光の中でもビジネス目的の方が他の地域と比較して多いからだと推測できます。つまり、会議やコンベンションなどの目的でホテル・旅館を利用する数も他の地域と比較して多いといえます。

福田常任理事はコロナ禍について、「昨年2月くらいから、売り上げが大きく下がりました。最初に緊急事態宣言が出された

4月、5月はかなり厳しい時期でした。宇都宮市の場合、東京都が緊急事態宣言下であったり、周囲の県がまん延防止等重点措置がとられていると、ビジネスの旅客がびたりと止まってしまいます」と振り返ります。

観光客を受け入れるホテル・旅館を持続させることは、コロナ禍の終息後に期待できる観光客の増加に対して、受け入れるキャパシティの維持につながります。宇都宮のまちづくりや観光の基盤を守り、本事業のめざすポイントの一つといえます。

観光客入込数は前年比半減

「入込数・宿泊客数ともに前年比半分近くまで落ち込み、東日本大震災の時以上の影響を受けたことが見て取れます。」

「入込数・宿泊客数ともに前年比半分近くまで落ち込み、東日本大震災の時以上の影響を受けたことが見て取れます。」

「入込数・宿泊客数ともに前年比半分近くまで落ち込み、東日本大震災の時以上の影響を受けたことが見て取れます。」

「入込数・宿泊客数ともに前年比半分近くまで落ち込み、東日本大震災の時以上の影響を受けたことが見て取れます。」

会員限定 お得なチケット、 プレミアム率50%! 8月発売決定!

宇都宮市内のホテル・旅館を支援し、
経済の活力に!

宇都宮商工会議所では8月2日(月)に、宇都宮市内のホテルや旅館で使用できるプレミアム付チケットを発売する予定です。そこで今回は、この事業の概要を紹介するとともに、宇都宮ホテル旅館協同組合の福田治久常任理事(株丸治専務取締役)に宿泊業の現状についてお話しいただきました。



図1 「ホテル・旅館施設利用プレミアム付チケット発行事業」概要

【主な内容】
宇都宮ホテル旅館協同組合の加盟施設で利用できる「プレミアム付チケット」を発行し、ホテル・旅館の利用促進を図ります。

1冊当たりの額面および販売価格	額面 15,000円 販売価格 10,000円(50%のプレミアム) ※1冊が1,000円券×15枚の綴りのチケット
発行冊数	1,200冊
利用方法	テレワーク、会議、飲食、宿泊、物販などによる施設利用
発行日	令和3(2021)年8月2日(月)
販売期間	令和3年 8月2日(月)～令和4年 1月14日(金)
利用期間	令和3年 8月2日(月)～令和4年 1月31日(月)
購入対象者	当所会員事業所
購入制限	1会員事業所につき最大5冊まで
販売場所	宇都宮商工会議所
申込方法	本号折込の購入事前申込書を当所宛に送付 ※申し込み後、受け付け書を発行します

※売り切れ次第販売終了

今回ご紹介する「プレミアム付チケット」は、正式名称を「ホテル・旅館施設利用プレミアム付チケット発行事業」といい、当所が手掛けている「新型コロナウイルス感染症緊急対策事業」の一環です。

この事業は、宇都宮ホテル旅館協同組合に加盟する20施設で利用できるチケットを発行し、会員の皆さまに会食や会議で使っていただくことにより、ホテル・旅館施設の利用を促進することを目的に企画しました。詳細は図1をご覧ください。

このチケットは当所会員限定で販売し、1事業所あたり5冊まで購入できます。1冊には1,000円券が15枚綴りですが、販売価格を1万円に設定することで、50%のプレミアムを実現しました。利用方法は、ホテルや旅館で提供するサービス(飲食、会議、宿泊など)



本号折込の購入事前申込書

であれば、基本的に使うことができます。幅広く利用できることが特徴です。

利用期間は8月2日(月)から来年1月31日(金)ですが、発行冊数が決まっているため、1,200冊が売り切れ次第販売終了となります。

今回、当所と協力して事業を進める宇都宮ホテル旅館協同組合の福田治久常任理事は「販売対象者が宇都宮商工会議所の会員限定ということで、地域でビジネスに携わっている企業の皆さまにご支援いただけ

interview

ホテル・旅館業界の現状を聞く

人々の交流を支える場所が ホテル・旅館

宇都宮ホテル旅館協同組合

常任理事 福田 治久さん

(株式会社 丸治 専務取締役)

宇都宮市内のホテル・旅館業の現状やプレミアム付チケットへの期待などを、宇都宮ホテル旅館協同組合の福田治久常任理事に聞きました。

その後、最初の緊急事態宣言が出され、一時期栃木県も含まれましたから、かなりの影響を受けました。秋口にかけて徐々に回復傾向が見られたのですが、再び感染拡大が起こったことにより、再度厳しい状況に追い込まれました。栃木県は、今年の4月に出された緊急事態宣言には含まれていませんが、宇都宮市は東京から100キロ圏内でビジネスの往来も盛んですので、大きな影響を受けています。

失われた 黄金の3年間

——コロナ禍で大きなイベントがいくつも中止や規模縮小に追い込まれました。

福田 宇都宮市の宿泊施設利用は、ビジネス利用目的が基盤ですが、近年は餃子ブームなどもあり、観光目的も増えつつあります。ところが、毎年夏に行われるふるさと宮まつりや、秋の人気イベントであるジャパソカップや宇都宮餃子祭りなど大規模なイベントがすべて中止となりました。

その他にも東京オリンピックについては、本年に開催が延期されましたが、本来は昨年の開催であり、外国選手の事前キャンプ地として複数の選手団を受け入れることにもなっていました。また、インターハイ（全国高校総体）が北関東で開催されることも決まっていました。さらに今年は国体のリハール大会があり、それが来年の「いちご一会国体」へつながると期待していました。私どもでは、この3年間に大きな期待を

寄せていました。それが、コロナ禍によってイベントの中止や規模縮小など、今後が全く読めない状況が続いています。

一方で、ワクチンの接種がスタートしました。もちろんワクチンを打ったから安全とは言えませんが、それでも新型コロナウイルスに大きな効果があると思いますので、これからは徐々に良い方向になると期待しています。

——宇都宮市の観光入込客数は約50%減、宿泊客数も約40%減という数字が出ています。今年の状況はいかがでしょう？

福田 個々の宿泊施設間の差は当然ありますが、最近の市内全域のホテル・旅館の稼働率は、平均すると40%に満たないくらいではないかと感じています。昨年の同時期（6月～7月）は緊急事態宣言明けで、多少上向いていたと思いますから、コロナ禍が続いている今年は去年より悪いという印象です。

——ワクチン接種が進むことに、期待を寄せていると思います。

福田 安心して皆さまがまちなかに出てこられるようになるだけで、経済も回り始まりますし、なにより気持ちが明るくなります。ビジネスも重要ですが、まずは街で笑顔が見られる社会にはやく戻ってほしいと思います。

——仮にその雇用が減少した場合、宇都宮市の経済に大きな影響が生じますね。

福田 その通りだと思います。例えば飲食の食材などについては、すでかなりの影響が出ています。通常であればホテルや旅館の野菜や肉、魚などの食材の取扱量は、一般の飲食店と比べてかなり大きいわけです。それらの需要が既に1年半にわたって、激減していますから、生産者も卸業者もかなり逼迫していると思います。酒販については、小・中規模の販売店は家飲み需要に助けられていると聞きますが、それだけではマイナスを埋めることは難しいでしょう。メンテナンスのための清掃やクリーニングに携わる業者もかなり苦しい状況と聞いています。

——ホテル・旅館業は、裾野が広い業種なのですね。

福田 ホテル・旅館がしっかり稼働することなどは、地域経済にとって非常に重要なことだと思います。

都市は、人が集い交流する空間です。そこに交流のための場所を提供するのが、私どもホテル・旅館業の役割だと思います。地域の顔となる自覚をもって、コロナ禍を乗り越えていこうと思います。



インタビューでホテル・旅館の窮状を訴える福田常任理事

という気持ちにはなかなかないのが現状だと思います。

——今回のプレミアム付チケットへの期待は、いつ頃からですか。

福田 ニュースなどで報道されるようになってすぐでしょうか。売上への影響が大きくなり始めたのは、昨年の2月くらいだと思います。

ホテル・旅館は安全安心の場

——個々の施設の対応に加えて、組合として実施していることはありますか。

福田 今年になって、さまざまなアプローチを行っています。

例えば組合活動では、総会や理事会などをリモート開催していましたが、今年の総会は安全対策を万全にした上で、実際に集まって開催しました。もちろん懇親会などはまだ開けません。が、安心安全な会合をまず自分達が実行することで、お客さまへフィードバックできるように努力しています。総会だけでなく、会議なども実際に会うようにしています。

——ホテル・旅館は感染症対策を徹底していますからね。

福田 大きな会議がある場合は、組合員同士でアクリル板などの対策用アイテムなどを融通しあったりもしています。そういった努力を重ねて少しずつご利用を増やしています。

私どもの組合員でクラスターが発生した事例はありません。「絶対に発生させない」という強い決意をもって業務に取り組んでいます。それでもお客さまの恐怖心は依然として強いと思いますので、気軽に「ご飯を食べに行こう」

——今回のプレミアム付チケットにどのような期待を寄せていますか？

福田 今回のチケットは宇都宮商工会議所の会員限定での販売ですから「地域の皆さまで支えていただけ」といううれしさがあります。同じ宇都宮市という地域の中で、苦労をともにしている方々からサポートしていただけるのは特別な喜びを感じます。地域あつてのホテル・旅館ですからね。

また、プレミアム率が50%と高いことで、買っていただいた方にも大きなお得感があるのもありがたいと思います。やはり、得する幅が大きいかとチケットをご利用いただくとおもいます。ホテルや旅館はすでに1年半も苦しい時期が続いていますから、ここでサポートしていただくことに感謝しています。

——消費マインドは復活するでしょうか？

福田 チケットの販売は8月開始ですから、タイミングが良いかも知れません。現在は消費マインドが落ち込んでいるので、使い方が多いのではないのでしょうか。

8月であればワクチン接種も進み、注意しながらの状況ではあっても、これからイベント開催なども増えてくるでしょう。そ

問合せ
地域振興部
☎028-637-3131